

登米懷古館企画展

ほれほれ 日本画

— 日本画鑑賞のコツ —

2025

7/5 (土) ▶ 9/7 (日)



企画展詳細はこちら /

(左上から反時計回りに)

「芦雁図」狩野探幽筆(部分) 館蔵

「万歳・獅子舞図(右幅)」伝 英一蝶筆(部分) 館蔵

「武蔵野図」伊達宗重筆(部分) 登米市歴史博物館蔵

観覧料金 / 大人 400 円 高校生 300 円 小・中学生 200 円

開館時間 / 9:00 ~ 16:30 お問い合わせ / 0220-52-3578



伊達宗重が描いた伊勢物語「武蔵野」の情景



▲ 武蔵野図

伊達宗重筆 江戸時代前期 登米市歴史博物館蔵

— 日本画鑑賞のコツ —

ほ
れ
ば
れ

日本画

江戸時代には、幕府や諸大名の御用（お抱え）絵師による絵画や、庶民層を中心として流行した浮世絵など、さまざまな画派の絵画作品が生み出されました。

本展では、江戸時代から明治時代にかけての絵画作品の鑑賞方法や、作品のポイントを併せて紹介します。

本展を通して日本画を鑑賞するコツを知り、日本画の楽しさを知っていただければ幸いです。



東東洋が描いた鹿の親子

▲ 親子鹿図

東東洋筆
江戸時代後期
館蔵

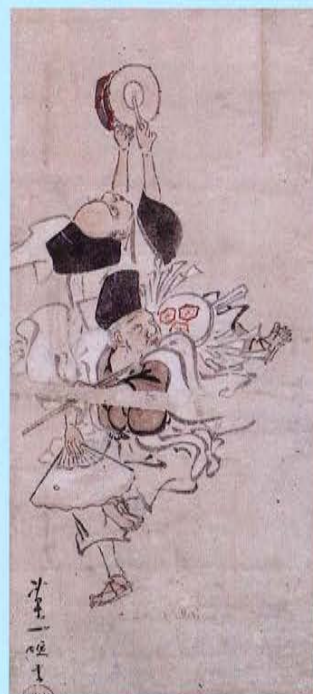
佐沼亘理家9代隆胤の作品



▲ 亘理隆胤書画帳

亘理隆胤筆 江戸時代後期～明治時代初期
登米市歴史博物館蔵

庶民を描いた二幅一対の風俗画



▲ 万歳・獅子舞図（双幅）

伝 英一蝶筆 江戸時代中期 館蔵

